

平成 28 年度 外部評価者面談について

■ 目的

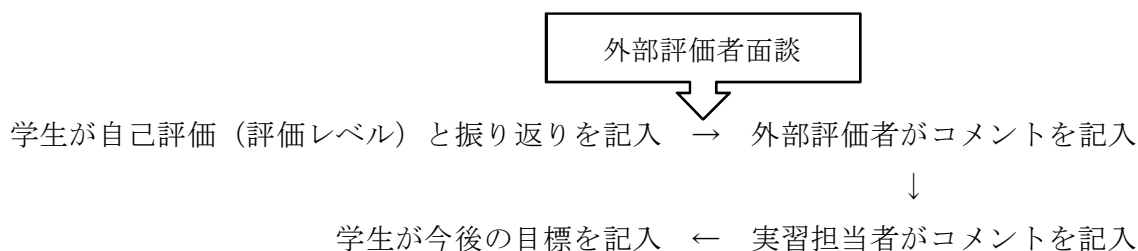
本面談は、外部カウンセラーによる面談を通して、学生が授業、クラブ活動、アルバイトなど学校生活全般における自分自身を振り返ることによって、下記の効果を目指すものである。

- I. 評価者との面談を通して学生が自己の目標や課題について考える。
- II. 自己評価と外部評価(他者評価)の相互評価によって、学生がその違いを知り、社会に出るために必要なことを考える。

■ 面談の概要

- ・ キャリアカウンセラーの資格を有する面談者1名と、学生4～5名のグループ面談で行ないます。
- ・ 学生が書いたシートを元に面談者が質問したり、全員に同じ質問をしたりしながら進めます。学生に発言させることを通して、自分自身を振り返り、考えを整理させることを目指します。
- ・ 面談者は学生の発言を受け取り、どんな小さなことにも良いことであれば承認を与えることを第一に進めます。承認を与えることで、良いことを継続し、課題を改善する気持ちを持つことを目指します。また、学生が出した成果以上に、「どうしてそうしようとしたのか」、「どのように進めたのか」に重点を置きます。
- ・ 学生が発言することを中心に進めますが、面談者は仕事の経験がありますので、社会や仕事をする際の考え方についてのアドバイスもします。

■ 外部評価者面談前後の流れと日程 (中間 7 月)



■ 平成 28 年度の日程 (中間 7 月)

割振表の記入	6 月 20 日 (月)
シート学内メ切	6 月 27 日 (月)
シート引き渡し	6 月 28 日 (火)
面談	7 月 9 日 (土)
シート返却	7 月 22 日 (金)

■ 評価シートについて

- ・ 評価シートは前年度と同じものを利用し、中間と事後とを分けて使用します。
- ・ 評価レベルは、3つの能力それぞれについて5段階で記入させてください。12の能力要素それぞれについて記入する必要はありません。
- ・ 実習担当者は、お手数ですがシートを提出するたびにコピーし保管してください。

■ 学生へご指導いただきたいこと

- ・ 「外部評価」という名称ですが、学生を「評価」することではなく、面談者との会話を通して自分の目標や課題を考えること、自分の考えと社会の考えとの違いを知ることが目的です。
- ・ 面談の目的、および「自分の学生生活を振り返り、社会に出るうえで必要なことを知ることによって、今後の目標や課題を考え、充実した学生生活とすること」をお伝えください。
- ・ 面談は、社会人になる際に必要な力が自分にあるかを考える機会です。社会人基礎力はそれを確認し、残りの学生生活や就職活動にどう取り組むかを考えるためのツールとなります。
- ・ 面談者は外部の方です。時間厳守で参加させてください（面談開始15分前集合）。
- ・ 面談者は普段就活相談の仕事や企業で人事担当者の方です。就職活動について相談することもできますし、就職面接の練習にもなります。
- ・ 原則として欠席は認められないこと、再度面談日を設定し実施するほかレポートなども課されることをお伝えください（以下の「欠席者対応」を参照）。

■ 欠席者対応

- ①事前連絡のあった学生には30分程度の集団面談、無断欠席の学生には、その後、さらに30分程度の「教育的」面談をおこなう。
- ②面談当日、欠席者に原稿用紙を渡し「社会人基礎力の12の能力について、自分の実習内容と関連づけて説明しなさい」という課題（手書き）を出す。事前連絡のあった学生は400字以上、無断欠席の学生は1,200字以上。このレポートは、教務課のレポートBOXに提出してもらう。正当な理由があつて欠席者面談に出られない学生には、実習担当教員から課題を渡してもらう。
- ③レポートは、社会人基礎力推進委員が添削し、実習担当者（もしくはゼミ担当者）を通じて学生に返却する（内容に不足がある場合は書き直させる）。
- ④面談後、委員会からのコメントを実習担当教員にメールで送る。このコメントと学生のレポートを踏まえ、担当教員は外部評価シートにコメントを書き、教務課まで提出する。
- ⑤万一、この面談を無断欠席した学生がいた場合、2,000字以上の手書きレポートを課す。

※不明な点は、社会人基礎力推進委員にお問い合わせください。